

議 平生町
議会だより

第 127 号

2013 年 4 月 26 日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



佐賀小学校入学式（4月8日）

3 月
議会報告
いっぱん質問

3月定例会	2ページ
常任委員会審査報告	4ページ
いっぱん質問	6ページ
一部事務組合議会	11ページ

25年度 予算審議

一般会計 48億7,520万円 特別会計 40億6,742万円 合計 89億4,262万円

平成25年第1回平生町議会定例会が、3月7日から13日間の日程で開かれました。

3月議会は新年度の予算を審議します。

提案された議案は平成24年度補正予算6件、平成25年度予算10件、条例12件、事件3件、同意1件で、計32件です。議案は全会一致または、賛成多数で可決、承認されました。一般質問では6人の議員が登壇し、町政の取り組みについて質問しました。

25年度のテーマ

町長は、「第四次総合計画」の3年目として25年度のテーマを「参加と協働のまちづくり」と定め、より一層の経費削減に努め、町民のニーズを的確に反映した、効率的で効果的な予算編成だと説明しました。

その中で基本的な5つの柱を示しました。

- ①参加と協働による住民自治のまちづくり
- ②安全・快適で幸せに暮らせるまちづくり
- ③未来を担う子どもたちを育むまちづくり
- ④魅力と活力あふれるまちづくり
- ⑤健全な財政で持続可能なまちづくり

新年度予算概要

平成25年度予算は一般会計で48億7,520万円(前年度比0.004%減)、特別会計40億6,742万円(同2.1%増)、合計89億4,262万円(同0.9%増)です。

主な歳入

(構成比)

- ▽地方交付税(38.8%) 18億9,300万円
- ▽町税(25.8%) 12億5,884万円
- ▽町債(10.5%) 5億1,080万円
- ▽県支出金(6.6%) 3億1,935万円
- ▽国庫支出金(6.4%) 3億1,129万円

主な歳出

(構成比)

- ▽民生費(29.3%) 14億2,807万円
- ▽総務費(14.4%) 7億3,411万円
- ▽公債費(14.1%) 6億8,917万円
- ▽土木費(11.5%) 5億5,722万円

主な継続事業

- ▽柳井地区広域消防組合負担金 2億2,381万円
- ▽公共下水道事業 1億3,935万円
- ▽法人保育園保育業務 1億3,078万円
- ▽福祉医療費 9,468万円
- ▽単独町道改良事業 4,900万円

主な新規事業

- ▽児童手当支給 1億9,506万円
- ▽中学校普通教室棟屋根防水 1,250万円
- ▽佐賀公民館トイレ改修 1,050万円
- ▽海岸保全施設整備事業 3,550万円
- ▽道路橋梁補修事業 3,500万円
- ▽防災行政無線デジタル化事業 7,440万円

特徴的な新規事業

- ▽消防ポンプ積載車購入(第5分団) 873万円
- ▽水産物供給基盤機能保全事業 750万円
- ▽現況耐震診断 勤労青少年ホーム 350万円
- ▽佐賀公民館 347万円
- ▽トイレ改修 勤労青少年ホーム 221万円
- ▽大野公民館 293万円
- ▽中学校 465万円
- ▽中央公民館 221万円

- ▽耐震補強実施設計 体育館 460万円
- ▽平生小学校第3校舎特別教室棟 760万円
- ▽佐賀小学校プール改修 385万円
- ▽やまぐち集落営農生産拡大事業補助金 1,020万円

(平生町負担74万円)
※宇佐木にあるJA倉庫をタマネギ集出荷乾燥貯蔵調整施設として整備するものです。

▽佐賀地区移送サービス事業 258万円

平成24年度一般会計補正予算

9,923万円追加、総額52億8,474万円

一般会計

主な歳入

- ▽国庫補助金
農林水産業費国庫補助金 4,000万円増
総務費国庫補助金 2,208万円増
教育費国庫補助金 1,848万円増
- ▽県支出金
農林水産業費県補助金 1,360万円増
- ▽町債
中学校債 1,490万円増
- ▽総務費
財務財産管理費 1,274万円増
- ▽民生費
障害者福祉費 1,942万円増
農林水産業費 8,000万円増
漁港建設事業費
- ▽土木費
下水道整備費繰出金 1,137万円減
- ▽教育費
中学校普通教室棟耐震補強事業 3,660万円増

主な歳出

特別会計

国民健康保険

24年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算は1,573万円増額の17億8,454万円です。

主な歳出

療養諸費

1,603万円増

下水道事業

24年度平生町下水道事業特別会計補正予算は2,617万円減額の6億6,558万円です。

介護保険

24年度介護保険事業勘定特別会計補正予算は3,842万円増額の12億2,431万円です。

主な歳出

保険給付費

介護サービス等諸費 2,960万円増

条例

簡易水道関係

簡易水道事業が水道企業団に平成25年6月統合されるため、関係する条例の廃止、改正がありました。

平生町消防団

女性消防団の入団により、消防団員の定数200名のところを20名増員して220名とするものです。

同 意

固定資産評価審査委員会委員 大野北の久保德行さんの任期満了により、全会一致で同意しました。

この委員会は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服申し立てを審査決定するものです。



久保德行さん



委員会審査報告

総務厚生常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、3月12日に審査した結果、付託案件はすべて全会一致で承認しました。

主な審査経過は次のとおりです。

補正予算

一般会計

質 企画振興費の地方バス路線維持対策費補助金で昨年度と今年度で、利用者がどう変化したのか。

答 柳井駅前からイオンタウン平生経由上関行きは、約6000人増え、柳井前から直通で上関に行く路線では、約3000人増えているが、路線によって、年度で増減がある。

新年度予算

一般会計

質 町民税の個人で滞納繰越分450万円の計算根拠は何か。

答 徴収する目標の金額として計上している。

質 参議院議員選挙費で、備品購入費の投票用紙読取分類機増設ユニットとあるが、これは何か。



地方バス路線

答 現在の13段に、今回8段を増設し、合計21段のユニットで選挙事務に対応できるように整備させていただきたい。

質 参議院補欠選挙費と参議院選挙費とでポスター掲示場設置の委託料が違うのはなぜか。

答 両選挙とも59万所に設置をするが、4月の補選で購入した部材を、7月に流用するため。

質 社会福祉総務費で、備品購入費の自動車について、佐賀地区の



増設ユニット



佐賀保育園

質 移送サービスはどういう形でされるのか。

答 現在、佐賀地区の福祉の輪づくり運動推進委員会と協議の場を持つている。詳細については、予算措置をもって具体的な詰めをしていくことになる。

質 保育所運営費で、現在の保育士は、統合さ

れた後はどうなるのか。

答 正職員については、佐賀保育園と平生幼稚園での対応となり、臨時職員については、新民間保育園での採用試験を、希望者は受験している。

条例

質 消防団員の増員20人の位置づけはどうか。

答 基本的には本部付けで女性消防団員として活躍するような体制を考えている。今後幹部会で検討していくが、本人の希望があれば、分団に所属できるようにしていきたい。

事件

質 貸し付ける土地に、固定資産税はかかるのか、また、どのくらいの評価額になるのか。

答 町有地のため非課税である。評価額は出していない。

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、3月14日に慎重に審査した結果、付託議案はすべて全会一致で承認しました。
主な審査経過は次のとおりです。

補正予算

一般会計

質 農免農道整備事業の見直しはどのようになっているのか。

答 平成25年度の完成予定が1年ずれ、平成27年3月完成の予定である。

質 土木管理費で、住宅建築物耐震化促進事業の補助金の減額理由は。

答 住宅・建築物耐震化促進事業は、民間の住宅の耐震化を進めるための補助制度であるが、申請がなかったためである。



平生中学校

質 中学校費の学校管理費で、普通教室棟耐震補強事業の内容はどうなっているのか。

答 平成24年度の東日本復興特別会計準備費に係る学校施設環境改善交付金事業による耐震補強工事で、繰越事業として行う。工法はピタコラム工法で、4月に入札をし、夏休み中には工事を終わる計画で、ブレースを校舎の前面側5カ所に入れる工事になる。

下水道事業

質 工事請負費の減額理由は。

答 国庫補助金が減額となったことによる。

新年度予算

一般会計

質 「地域づくり推進事業」とは何か。

答 現況耐震診断に対する県市町村振興協会からの助成である。

質 農業振興費で、補助金のやまぐち集落営農生産拡大事業とは。

答 県のハード事業を受け、JAが事業主体で、県が3分の1、市町が10分の1を補助し、光市、柳井市、平生町、田布施町で、宇佐木の米の出荷場を改修してタマネギの集出荷乾燥貯蔵施設等を整備するものである。



J Aの宇佐木倉庫

質 林業事業費の工事請負費の単独林道改良工事の場所はどこか。

答 林道大星尾国線の道路改良である。

質 商工振興費で、ひらお産業まつりの補助金の増額理由は。

答 PRを強化するために、ポスターやチラシのカラー印刷、新聞折り込み、タブロイド紙掲載料などの経費である。

質 熊川の河川改良工事の計画はどうなっているか。

答 25年度に町道の橋をかけて、それから南蛮樋門の移設に入り、26年の3月末に完了すると、県に確認している。

質 新市公園の遊具設置は、地元からの要望によるものか。

答 子供の利用も多く、ブランコも欲しいという声も聞いており、検討して設置することにした。

質 公営住宅の長寿命化計画の策定によって、建てかえるのか。

答 修繕計画、建てかえ計画、改修計画を盛り込んでいく。



新市公園

質 教育総務費の事務局費で、バス借上げは何か。

答 これまで児童・生徒の研修や交流などの送迎を公用車で行っていたが、25年度より29人乗りのバスを借りて送迎するものである。



淵上正博 議員

いっぱん質問



が聞きたい

質 児童・生徒の体罰への対応は

答 環境づくりに努める



あいさつ運動 (平生小学校)

質

児童・生徒の体罰が大きな問題として、今全国で取り上げられている。県の教育委員会も、体罰防止の指導徹底を求める通知を出している。当町の教育委員会として、児童・生徒の安全確保に向けて、体罰の有無の把握はどのようにしているか。体罰の根絶に向けて、体罰防止の対策は。

答

教育長

体罰の実態把握は、各学校で毎週、生活アンケート、児童・生徒に対してアンケート用紙を配布してその記述等から把握をしている。気になる記述等があれば、すぐその児童・生徒と速やかに面談を行っている。また保護者に対しても相談しやすい環境づくりを各学校とも努めている。

質 給食アレルギーの対応は

答 対応を指導・指示していく



給食 (佐賀小学校)

質

食物アレルギーが原因で、給食後に体調を崩す事故が増加している。給食で重大なアレルギー事故を防ぐには、誤ってアレルギーを引き起こす食材を食べてしまう「誤食」を防ぐ対策づくりと、発症した場合の緊急対応が必要だと考えられる。事故防止についての考え方は。万が一事故が発生した場合の対処方法は。

答

教育長

アレルギーを持つ児童・生徒を把握し、おかずなどに入られるアレルギー食物は除去し、メインの場合は代替食を出している。学校では危機管理マニュアルを策定しているが、食物アレルギーに特化したものではない。まずは情報の共有と共通認識を持つことが大切で今後学校で食物アレルギー対策対応を考えるように指導・指示していきたい。



岩本ひろ子 議員

質 平生町参加と協働のまちづくり条例について

答 支え合っている地域社会を目指す

質

町内の過疎・高齢化の現状を考えてみると、協働の推進で、地域を主体的に運営する推進組織を設置し、その組織体制及び活動拠点の整備等に努めると条例にあるが、取り残される地域もでるのではないか危惧される。協働のまちづくり条例のビジョンを問う。

答 町長

協働のまちづくりにおいて取り残される自治会がないようにカバーしながら公民館単位でまとまっていけるような組織にしていける。高齢化、人口減少時代、課題は沢山ある中、こうした協働のまちづくりは避けて通れないと考える。そのことを通じて、各地区で今頑張っておられる方が横の組織をつくって、支え合っている地域社会を目指す。



協働のまちづくりフォーラム（武道館3月3日）

質 少年の非行防止対策について

答 周知徹底を図る

質

青少年の健全育成という言葉が強く言われている中、昨年来より公共施設の破壊、いたずら等が頻発をしている。次世代を背負う青少年を健全に育成することは、家庭・学校・社会の三者の責任であると考えますが、三者がそれぞれどう対応しているか、また改善策はどのようなか。

答 教育長

健全育成、青少年の育成という観点で物事に対応してきている。学校教育と社会教育においては社会体験・自然体験を通して子供たちを育てるカリキュラムを用意している。改善策としては、危険な場所を遊ばない、帰宅時間を守る、夜間外出はしない、地域の行事には参加する、他人に迷惑をかける等の周知徹底を図っている。



パトロール車（健全育成会議）



平岡正一 議員

質 町内で想定される災害に対応する訓練を

答 各公民館で地域にあった合同訓練



自主防災訓練（宇佐木地区）

質

東日本大震災以後、防災対策が地震・津波・原発と混乱している。

町は防災対策の見直しを進めているが取り組みはどうか。その中で、町内で想定される災害の対策を十分に研究し、訓練を進める必要がある。

地震の際の対策本部の設営や、日常の火災など町役場組織自身の訓練も必要と思うが、取り組みはどうか。

答

町長

防災に対する町の取り組みは、①自助共助の防災力アップ②住民への防災情報の伝達手段の整備③町の防災力の向上が基本である。自主防災の合同訓練は各公民館単位で地域の状況にあった訓練をしていきたい。町としては、職員の研修会を開催したり、地域防災計画の修正版の策定に取り組んでいる。課題を一つ一つやっていく考えである。

質 学校と家庭連携強化の取り組みは

答 学校と家庭を結ぶのは子供

質

学校教育を進める中で家庭との連携の大切さが多く語られているが取り組みはどうか。

家庭環境が複雑になる中で、これまでの取り組み以上の対応が必要と思う。

土曜日を活用した、家庭との連携強化の対策や、学校と家庭の連携を支援するために支援員の配置など、学校だけに負担を求めない対応も必要と思う。

答

教育長

学校と家庭を結びつけるものは子供である。学校としては、家庭に情報発信して、学校を理解してもらおうと取り組んでいる。参観日は、家庭と学校を結びつけるものである。土曜参観を実施して、保護者の出席の割合を高めようと工夫している。学校支援員の配置で家庭との連携強化は、学校内での子供たちの学習支援だけになっていくのが実態。



よみきかせ（平生小学校）



久保俊一 議員

質 平生町の活性化の取り組みについて

答 第四次総合計画で活性化を推進

質

わたしたちの町は、活性化が必要な地域だと思っておりますか。第四次平生町総合計画を推進していくことにより、わたしたちの町は、活性化になると思っていますか。

平生町は、地域活性化の必要条件がすべてあてはまるのでは、これらのことを考えて、わたしたちの町、平生の『地域活性化』の考えをお聞かせ下さい。

～活性化が必要な地域～

- ・ 農林水産業、製造業等の主な生産機能が弱体化した地域
- ・ 移入が移出より大きく、地域収支が赤字の地域
- ・ 地場産業振興、起業の動きがなく、雇用確保できない地域
- ・ 行政の財政事情が危機に陥っている地域

※移入⇒町外から町内へ 移出⇒町内から町外へ
地域収支⇒国債収支 起業⇒新しく事業をおこす。

答

町長

町は活性化が必要であり、第四次総合計画を推進していくことで町は活性化になる。活性化の必要な地域の条件は、平生町及び他の自治体にも当てはまる。活性化が必要だと思えるのは、町民共通の思いである。第四次総合計画を着実に推進していくことによって、地域の活性化につながる。地域のリーダーを育てること。発信力をしっかりとつけること。

質 一般質問の取り組み状況について

答 担当課に指示をし取り組んでいる

質

- (1) 確でわかりやすい情報発信
 - (2) 安全・安心で安定した水の供給
 - (3) 公共施設（箱物等）の老朽化の実態
 - (4) 良質な住宅環境整備
 - (5) 地域福祉の充実
- これらの進捗状況等を項目ごとに、改善されたこと。今後の取り組み・計画・予算等に反映されているのか。各担当課にどのように指導されたのか、町長の取り組みをお聞かせ下さい。

答

町長

- (1) 関係部署としっかりと連携をとって改善。
 - (2) 水道企業団の改善策にて、職員の削減。
 - (3) 財源を確保しながら着実に進めていく。
 - (4) 10年間の整備計画を策定し予算に計上。
 - (5) 民生委員の2名増員予定。
- 進捗状況については、担当各課にいろいろと指示をして取り組みを進めてきている。改善等は、来年度予算にも反映している。

- ・ 公営住宅等長寿命化計画策定 4,053,000 円
- ・ 道路橋長寿命化修繕計画策定 2,000,000 円
- ・ 勤労青少年ホーム現況耐震診断 3,500,000 円
- ・ 佐賀公民館現況耐震診断 3,470,000 円
- ・ 佐賀漁港（佐合島護岸）点検業務 1,418,000 円
- ・ 民生児童委員協議会
町交付金 (県委託金)
24年度⇒ 3,636,000 円 (1,816,000 円)
25年度⇒ 3,702,000 円 (1,854,000 円)



河内山宏充 議員

質 教育委員会の報告書の公表は

答 これからの協議の中で考えて進めたい

質

地方教育行政の組織及び運用に関する法律第27条では、教育委員会の権限の管理及び執行について、自ら点検・評価を行い報告書を作成・公表しなければならぬとあるが、現状どういう型で行われているのか。地方教育行政の組織及び運用に関する法律の特例条項を活用し、子供を育む学校教育へ特化した教育委員会へ組織変えすべきではないか。

答

教育長

教育委員の事業、施策等を部外の行政評価委員に評価の制度を一旦中止している。総合政策の中で事務事業の評価は部内で行っており、決算の認定の際に行政報告として議会に示している。小さい組織、スタッフの中でやると膨大な事務量となり膨大な時間が必要となる。できる範囲で新年度に向けて動きたい。



教育委員会

質 それぞれで指標値が異なるのはなぜか

答 実態に見合った目標設定をさせていただく

質

意見募集中の平生町健康づくり計画(案)の指標値と平生町のまちづくりの指針である基本計画の指標値が、同じ項目で差異がある理由はなぜか。
「8020(ハチマルニマル)」など国民運動として展開されている施策との関係づけが薄いのではないか。
庁内、関係諸団体との十分な協議はなされているのか。

答

町長

計画案策定のこの時期いろんな計画がある、全部町の総合計画の期間と整合性をもって推進できれば一番いいが、実情をふまえた目標設定も必要。
言葉としてわかりやすい言葉にして中身は一応触れている、指摘のことも含めて計画に盛り込んでいる。
課長会議でこの計画の必要性、アンケートの調査結果とか状況の推移等について報告しながら協議を進めてきた。



計画書



細田留美子 議員

質 閉鎖予定保育園の活用方針を聞く

答 今後の検討課題となる



平生保育園

質 来年4月に保育園が統合され、新しい民間保育園ができる予定だ。今後の宇佐木と平生保育園の活用を聞く。

乳幼児を中心とした遊び場と大人がホッとくつろげるティーサロンを備えた子育て支援の場としての活用は考えられないか。

またお年寄りと幼児が交流できる場所が町内にはない。交流施設としての運営はどうか。

答 町長 宇佐木保育園の耐震診断は、施設を維持・利用するには大規模な改修が必要である。

平生保育園は耐震診断の対象外であるが、台風の際には屋根に土のうを置き、雨漏りがする。引き続き活用していくとなると、いづれも改修が必要となる。

現時点で利用計画は決まっていない。まちづくりの一つの拠点的な整備方法もあるのかなとも思う。

一部事務組合レポート (田布施・平生水道企業団)

平成25年度田布施・平生水道企業団水道事業会計予算は、平成12年度〜24年度まで『マイナス予算』が続いていたが、13年度ふりに『プラス予算』となりました。

水道企業団の経営努力と議会の改革指導により、約1,400万

円の削減(職員1名減等)ができたことによります。

しかし県補助金(平成24年度からの5年間で、財政支援を段階的に削減していき平成28年度で終了)と両町より多額の他会計補助財政支援にたよっている状況で、水道企業団の

厳しい経営状況は、これからも続くと思われる。今後の水道企業団の健全化を確保するために一部を受益者負担として、平成25年6月1日から1㎡当たり31.5円の値上げをすることになりましたが、今後とも議会として財政健全化に向けて、水道企業団の経営改革をすすめていきますので、皆様のご理解とご協力をよろしく願います。



(家庭用水道料金)

市 町	10 m ³ 当たり (円)	20 m ³ 当たり (円)
柳井市	1,410	3,930
周防大島町	2,100	4,600
上関町	2,205	4,515
田布施・平生	1,764	3,864
改定後	2,079	4,494

議会広報広聴調査特別委員会



ありがとうございました



2年間、議会だよりを読んでいた方がとうございました。限られたページの中、できるだけ多くのことを伝えられるように試行錯誤してきました。読みづらい点もあったと思いますが、お許しただければ幸いです。これからも「議会だより」は続いていきます。ご指導の程よろしくお願ひします。

久保 俊一	中川 裕之	河藤 泰明	副委員長 岩本ひろ子	村中 仁司	松本 武士
-------	-------	-------	---------------	-------	-------

議会の動き



(H24・12/12)		H25・3/6	
24年12月12日	議会広報広聴調査特別委員会	2月13日	2月定例農業委員会議会
12月20日	議会運営委員会	2月18日	総務厚生常任委員会議会
12月26日	議会全員協議会	2月19日	産業文教常任委員会議会
12月27日	柳井地区広域消防組合議会第2回定例会	2月22日	議会運営委員会
"	議会広報広聴調査特別委員会	2月26日	平成25年周東環境衛生組合議会定例会
25年1月9日	柳井地域広域水道企業団議会第2回定例会	"	平成25年柳井地域広域水道企業団議会第1回定例会
1月16日	議会広報広聴調査特別委員会	2月27日	平成25年柳井地区広域消防組合議会第1回定例会
1月17日	1月定例農業委員会議会	3月3日	協働のまちづくりフォーラム

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
 ・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
 紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願ひします。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

2013年ってどんな年？
 2013年の干支は「癸巳」にあたります。「癸」は冬枯れの季節にあたり、草木が枯れて見晴らしがよくなった景色の中に、隠れて見えなかった四方の水路がはつきりあらわれてきた形を象った文字で、その見通しの良さから「物事をはかる」意味があるのと同じ時に物をはかるには基準が必要ですので、原理法則・筋道というより意味にも用いられます。「巳」は蛇の象形文字ともいわれ、地中で冬眠を終えたヘビが地上に這い出して、新たに活動することを意味し、また物事が一旦終結し、又新たに出発するとの意味をもつとされます。「癸巳」にあたる今年には、原理・原則に基づいて筋道だった企画や計画を立案し、新たな出発を図る年と見えそうです。
 新しくTPP参加・発送電分離となるのも必然的なのでしょうか？「十二支のことわざ辞典」参照
 岩本ひろ子